

# 足利風 -ashikaga-fu

2014  
2月号  
Vol. 30



## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \*「マザー・テレサの瞳」\*

詩人・茨木のり子に「マザー・テレサの瞳」という詩がある。

～マザー・テレサの瞳は 時に 猛禽類のように鋭く怖いようだった  
マザー・テレサの瞳は 時に やさしさの極北を示してもいた  
二つの異なるものが融けあって 妖しい光を湛えていた  
静かなる狂とでも呼びたいもの 静かなる狂なくして  
インドでの徒労に近い献身が果たせただろうか マザー・テレサの瞳は  
クリスチャンでもない私のどこかに棲みついで  
じっとこちらを凝視したり またたいたりして  
中途半端なやさしさを撃ってくる！  
鷹の目は見抜いた 日本は貧しい国であると 慈愛の眼は救いあげた  
垢だらけの瀕死の病人を 一なぜこんなことをしてくれるのですか  
一あなたを愛しているからですよ 愛しているという一語の錨のような重たさ  
自分を無にすることができれば かくも豊饒なものがなだれこむのか  
さらに無限に豊饒なものを溢れさせることができるのか  
こちらは逆立ちしてもできこないので 呆然となる  
たった二枚のサリーを洗いつつ 取っかえ引っかえ着て  
顔には深い皺を刻み 背丈は縮んでしまったけれど  
八十六歳の老女はまたなく美しかった 二十世紀の逆説を生き抜いた生涯  
外科手術の必要な者に ただ包帯を巻いて歩いただけと批判する人は  
知らないのだ 瀕死の病人をひたすら撫でさするだけの 慰藉の意味を  
死にゆくひとのかたわらにただ寄り添って 手を握りつづけることの意味を  
一言葉が多すぎます といっぺ一九九七年 その人は去った～  
・東京で、またインド・コルカタ(カルカッタ)で、私は、その瞳と出逢った。現在(いま)でも、その  
瞳は、私の心に棲みつづけている。。

ボランティア・NPO活動のめざす社会は、多様性をはらんだイコール・パートナーのヨコ型社会です。上意下達のタテ型社会とは全くベクトルの違った社会です。マザー・テレサの瞳は、そのことを静謐のうちに、指し示していたようにも思えるのです。。

(M生)

## \*「よく観ることは、よく生きること。」\*

足利生まれの世界的な映画作家・想田和弘さんをニューヨークからお迎えして、12月7日(土)足利市民プラザで、講演会・映画「Peace」上映会・フロアトークという盛り沢山のプログラム。。言わば“想田和弘デー”が「ひと to ひとのフォーラム」実行委員会(鈴木光尚会長)の主催で実施された。参加者は市内外から400名。

“観察映画”というジャンルを開拓し、日本はもとより世界に影響を与えた想田和弘監督の“想い”の一端が、故郷足利の地で披歴された記念すべき一日であった。よく観ること、観つづけることで、向こう側から人生や社会の真実が語られてくる。。約1カ月ほど前の11月9日(土)助戸公民館で、プレ企画的な意味合いで行われた6時間に及ぶ「演劇1・2」上映会でも、現代演劇界の異才・平田オリザという人間を通して、“すべての地域に、文化の自己決定能力を！”という声が木霊していた。足利市民一人ひとりが、これからも、想田和弘という類まれなる才能を愛しつづけて行くことだろう。



(鈴木光尚・記)

## \* 元気なまち、繋がるまち。\*

～海老沼 利昌～

「もっと毎日が楽しくなればいいな。」そんなシンプルな考えから市民活動グループ【Lien(絆)～両毛を元気にする会】が誕生しました。

両毛をキーワードに両毛地区の人と交流を広げ、それぞれの街の情報を共有し活性化に結び付ける活動を行っております。BBQや婚活イベント、交流会、子育て支援プロジェクトなど、様々な視点から人との繋がりを活用した地域活性プログラムを実践しております。

人は、それぞれ得意分野があると思います。一人じゃ出来ない事も誰かが力を貸してくれる事により、やりたい事が実現出来る。人と人が繋がる事により大きな力になると私は思います。一人で何かするより、誰かと協力して何かを成し遂げ達成感や楽しさを共感する事が重要だと思います。

足利では「街の為に何かしたい人」は沢山いるのになぜか繋がっていない気がします。歴史や文化がある足利市をもっとPRするには、それぞれが繋がり協力していかなければなりません。

若者と大人が手を取り合い互いに協力しながら、それぞれが暮らしやすい楽しいまちづくりを目指して、これからも活動していきたいと思っています。



## \* あどもい \*

あどもい代表 末吉 利啓

私たち「あどもい」は足利の豊かな歴史と文化財を効果的に活用して、地域の活性化を進めることを目的とする市民団体です。ただ考えるだけではなく、そのために必要な人材、組織の橋渡しを積極的に進めています。現在行っている取り組みは主に4つです。

第一は歴史や文化財に携わる様々な方が意見を交換する定例会の開催です。毎月第一水曜午後7時に市民活動センターに集まり、官民老若男女関係なく参加し、そこで新たな出会いや発見も生まれます。

第二は歴史が好きな方、足利が好きな方向けの勉強会&交流会「歴マニ会」の開催です。毎回歴史的なロケーションを選び、そこで足利の和菓子を食べながら歴史を学び談笑します。

第三はイベントコンサルティングです。歴史文化財にかかわるイベントのフォローをし、積極的に参加し、課題の解決を共に考えていきます。昨年は文化財一斉公開のポスターデザインを担当させていただき、独自のツアーも開催しました。

第四は「歴史へのいざない写真プロジェクト」です。魅力的な足利の歴史・文化財をプロの



カメラマンの技術で、より魅力的に切り取り、市内の店舗に展示しています。そこから足利の歴史に興味を持っていただけるように“いざない”のツールとして写真を活用しています。

今後更に激化するであろう地域間競争に勝ち抜くため、足利の誇りある歴史と貴重な文化財を保護・伝承するため、これからも歴史を切り口にあどもいは、積極的に行動していきます。ご興味のある方は、ぜひお気軽に定例会にご参加下さい。

## ① インフォメーション ①

### ☆映画「犬と猫と人間と2 ～動物たちの大震災～」

日 時：平成 26年 3月 9日(日)

開場:午後 1時 30分 上映:午後2時(104分)

会 場：足利市助戸公民館ホール(TEL 0284-44-0791)

定 員：150名(先着順)

参加費：無料(但し、事前に **会場整理券** を配布します。)

託児あります。(要:事前予約)

※ 詳しくはチラシ・HPをご参照ください。

### ☆平成26年度のロッカーとレターボックスの利用者募集！

※希望される団体等は、平成26年3月20日までに活動センターまで、お申し込みください。

なお、申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

### ☆ホームページとFacebook のQRコードを作成しました

※今回から情報紙にホームページとFacebook のQRコードを掲載しました。

是非、ご利用ください。

ホームページのQRコード(表紙に) Facebook のQRコード(裏表紙に)

☆「ガーデンもろた」様、いつもきれいなトルコ桔梗をありがとうございます。

## \* センターからのご案内 \*

### ☆みんなの広場 ～ 2月・3月のご案内 ～

\* 足利工業高校 産業デザイン科 テキスタイルデザイン展(2月3日～13日)

\* 全国各地のひな人形展(2月17日～27日)

\* 東日本大震災3周年展 (3月3日～13日)

\* 足利風表紙原画展(3月17日～27日)

Facebook の  
QRコード

### ☆相談室&講座のご案内

\* 相談室 = 毎月第2・第4水曜

午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

\* 講座 = 毎月1回

午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照



## 編集後記

雪国のひとが、「雪は上からフワフワ降ってくるんじゃなくて、下から吹雪いてくるんですよ」と言っていたのを思い出す。震災被災地は3度目の冬。「桜の季節が恋しい」と微笑んだ少女の瞳。..春よ、来い。早く..来い。 (カサブランカ)



# “ 講座・相談室のご案内 ”

## 【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
2/12(水)	パソコン初心者の “困った”を解決します	宮師 保さん (ぱそぼらあしかがnet.com代表)
2/26(水)	お雛さまを 折り紙でつくろう！	檜山 達夫さん (足利市レクリエーション協会)
3/5(水)	もっと知りたい 相続・遺言セミナー	グループかたくり (佐野市行政書士有志)
3/19(水)	団塊世代の地域デビュー	鈴木 光尚さん (NPO法人足利NPOフォーラム代表理事)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 ワーキングルーム

## 【講座】

日時	講座名
2/20(木)	“論語”と足利のまちづくり
	お話：福田茂夫さん(足利再生プロジェクト代表) 鈴木光尚さん(足利叢林フォーラム代表)
3/13(木)	足利の“まち映画”と子どもが主役のまちづくり
	お話：藤橋 誠さん(まち映画監督) 新井街栄さん(足利で「まち映画」をつくる会代表)

時間 午後7時～午後9時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
2/3(月) ~2/13(木)	足利工業高校 産業デザイン科 テキスタイルデザイン展	足利工業高校 産業デザイン科
2/17(月) ~2/27(木)	全国各地のひな人形展	牛山 喜人さん
3/3(月) ~3/13(木)	東日本大震災3周年展	鈴木 光尚さん
3/17(月) ~3/27(木)	足利風表紙原画展	小林 生子さん

展示会場 足利市民活動センター（旧保健所） 3階 みんなの広場  
（足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311）

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝